

平成18年度

事業報告書

財団法人

日本高等学校野球連盟

◇ 事業の状況

1. 高等学校野球の振興、指導および加盟団体に対する監督

(1) 年度内に全国理事会を4回、また毎月定例として常任理事会を開催（12月を除く）して案件の審議、決定を行いました。更に各種専門委員会を必要に応じて随時開催、諸問題の審議、検討を行い高等学校野球の健全な育成、発達に努めました。

また年度内各都道府県高等学校野球連盟会長会議、同理事長会議をそれぞれ各1回開催し、加盟団体との連絡と諸問題の伝達、徹底を計りました。

(2) 高等学校野球の健全化促進のため、本年度も『大会参加者資格規定』を定め、各都道府県連盟に通達し、加盟校への指導を要請しました。

2. 高等学校野球の調査、研究

(1) 年度内に開催された第78回選抜高等学校野球大会ならびに第88回全国高等学校野球選手権大会に参加した出場校に、大会会期中の宿舍生活実態と参加経費、寄付金募集の状況と過不足金の処理方法などの内容についてアンケート調査しました。両大会運営委員会ならびに理事会においてこの集計を報告、今後の指導方法と対策を検討しました。

(2) 5月末現在を基準とした硬式、軟式両加盟校の部員数調査を今年も実施しました。（集計開始は昭和57年から）集計結果は硬式が166,314人（1,021人増）、軟式が11,524人（51人減）。硬式の部では、9年連続前年比増で過去最高を記録。また、加盟校数は過去最高を記録した昨年から11校減の4,242校で（過去2番目）となった。

3. 高等学校野球大会の開催および協力

(1) 第78回選抜高等学校野球大会

毎日新聞社と共催で3月23日から4月4日までの12日間（1日順延）、阪神甲子園球場で開催、1月31日に開かれた選考委員会で選考された32校が参加し無事盛況のうちに終了、横浜高等学校（神奈川）が8年ぶり3回目初優勝を果たしました。準優勝は初出場の清峰高等学校（長崎）。

(2) 第88回全国高等学校野球選手権大会

朝日新聞社と共催で8月6日から21日までの16日間（1日会期延長）、阪神甲子園球場で従来通り49校が出場して開催。決勝戦は、73年ぶり史上2校目の3連覇を狙う駒澤大学附属苫小牧高等学校（南北海道）と悲願の初優勝を目指す早稲田実業学校（西東京）が対戦。延長15回を互いに譲らず、37年ぶりに決勝戦再試合となり、早稲田実業学校が2日間にわたる熱戦を制し優勝した。

(3) 第51回全国高等学校軟式野球選手権大会

全日本軟式野球連盟、毎日新聞社、朝日新聞社の後援を得て8月25日から29日まで5日間、兵庫県下の明石公園野球場と高砂市野球場で開催しました。

参加校は全国16地区から各1校ずつ計16校。両会場で熱戦が繰り広げられ、作新学院高等学校（北関東・栃木）が11年ぶり6度目の優勝を果たした。準優勝は、中京高等学校（東海・岐阜）。

(4) 第61回国民体育大会・高等学校野球競技

夏季・秋季大会が初めて一本化された大会を兵庫県で開催。硬式の部は、9月30日から高砂市野球場で12校が参加して4日間開催。決勝戦は、選手権大会の再現となり、早稲田実業学校（東京）が29年ぶり2度目の優勝。

軟式の部は、10月1日から丹波市春日総合運動公園（春日スタジアム）で10校が参加して4日間開催。作新学院高等学校（栃木）が決勝戦で広陵高等学校（広島）を破り2年連続4度目の優勝を果たした。

(5) 春季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州の全国9地区で4月下旬から6月上旬にかけて開催、無事終了しました。

(6) 秋季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道、東北、関東、東京、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州の全国10地区で10月上旬から11月上旬にかけて開催、無事終了しました。

(7) 第37回明治神宮野球大会・高等学校の部

11月12日から15日まで4日間、明治神宮野球場で開催。高等学校の部は、東京都のほか9地区から各1校が参加し、高知高等学校（高知）が初優勝を飾りました。

[海外派遣ならびに招待]

次の通り年度内に海外招待ならびに国際大会を行い、野球を通じて国際親善の実を挙げました。

(1) 日米親善・米国選抜チーム招待

6月8日から20日まで13日間、米国選抜高校チーム（役員7人、選手17人）が来日。香川、高知、愛媛、広島、京都、大阪の各府県選抜チームと親善試合を行い、結果は米国選抜高校チームの2勝3敗1分でした。

(2) 日米親善・全日本選抜チーム米国派遣

8月29日から9月8日まで11日間、全日本選抜高校チーム（役員10人、選手18人）を米国・クーパースタウンとロサンゼルスに派遣。現地の東部選抜チーム（2試合）、西部選抜チーム（3試合）と親善試合を行い、結果は全日本選抜高校チームの3勝1敗1分でした。

(3) 明治神宮外苑創建80周年・高知県選抜チーム台湾派遣

12月24日から30日まで7日間、第37回明治神宮野球大会で優勝した高知高

等学校の選手を中心に高知県選抜チーム（役員7人、選手18人）を編成。台湾に派遣しました。高雄と台北でそれぞれ2試合を行い、結果は高知県選抜チームの3勝1敗。

4. スポーツ医科学の調査、研究

(1) 年度内開かれた第78回選抜大会と第88回選手権大会に参加する投手全員を対象に、大会前に肩、肘の関節機能検査を実施、スポーツ障害の予防に努めました。検査結果の概要は次の通り。

		(78回選抜)		(88回選手権)	
検査受診者数		100人		162人	
		肩・肘		肩・肘	
X線所見・肘（剥離骨折）		— 4人		— 24人	
同・肘（遊離体）		— 2人		— —	
		肩・肘		肩・肘	
医師の診断	軽度の炎症	11人	14人	16人	23人
	中程度の炎症	1人	1人	2人	2人
	重い炎症	—	—	—	—

以上の結果、大会規定による投球禁止適用者はいなかった。

5. 一般アマチュアスポーツ団体との協力、提携

年度内に全日本アマチュア野球連盟、日本野球連盟、全日本軟式野球連盟、全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟等とも密接に連絡し、アマチュア野球の振興、発展に努めました。

6. 高等学校野球の指導者、審判等の講習会開催

(1) 指導者講習会

①指導者研修会

都県連盟からの要請で、田名部和裕参事を派遣し指導者研修会を実施した。
兵庫（12月7日）、石川（1月18日）、京都（1月19日）、
鹿児島（1月20日）、滋賀（2月16日）、宮崎（2月17日）、
宮城（2月20日）

②指導者講習会

年度内ノンフィクション作家の佐山和夫氏による『ベースボールライブラリー』の講座や全日本野球会議指導者育成委員会派遣の元プロ野球関係者による技術指導について講師の斡旋をした。

<開催日>	<開催地>	<講師>	<所属>
11月7日	新潟	佐山和夫	ノンフィクション作家
12月2日	東京	佐山和夫	ノンフィクション作家

(2) 審判講習会

当連盟主催の全国審判講習会を4月22、23日の両日、実技は阪神甲子園球場、また座学は中沢佐伯記念野球会館で実施。各都道府県から参加した受講者を対象にルール研修や実技指導を行いました。

また、北海道をはじめ9地区の地区別審判講習会に講師を派遣、地方審判の技術向上に努めました。

さらに、中学・少年野球育成事業の一環として、少年野球合同審判講習会を2月3日、4日に開催、受講者80人を対象に審判技術の統一と向上を図った。

(3) 新任理事長研修会

第15回新任理事長研修会を開催。2月8日、9日の2日間実施しました。研修会では学生野球憲章をはじめ、各種の規定や通達の解説、また選抜、選手権大会の出場校に対する参加上の要領等を説明、本年度は前年度就任の理事長14名が参加しました。

7. その他 法人の目的達成に必要な事項

(1) 全国大会の資産帰属

選抜大会ならびに全国選手権大会の資産帰属についてかねて朝日新聞社、毎日新聞社と協議を進めてきたが、選手権大会については朝日新聞社と平成18年3月31日付で、また選抜大会については毎日新聞社と同年5月22日付で両大会関係のすべての資産を日本高等学校野球連盟に帰属させることについて合意が得られ、両社社長と当連盟会長との間で合意文書を交わした。

(2) 公益法人制度改革説明会の開催

平成20年度にも移行が必要となる公益法人の制度改革について、現行の法人税非課税優遇措置を継続、維持するため、全都道府県高等学校野球連盟が公益法人格を取得する説明会を次の通り開催した。

- ・ 関西地区説明会 2月15日(木)午後2時 中沢佐伯記念野球会館
- ・ 東日本地区説明会 同 23日(金)午後4時 朝日新聞東京本社
- ・ 西日本地区説明会 同 26日(月)午後2時 朝日新聞西部本社